



# やぎた

## 議会だより

役場5階から見た山田地区

No. 139  
2013.4.15発行

# よろしくね!



0歳から4歳までの7人の新入園児が入所しました。(第一保育所)

3月  
定例会

復興へ向けての2年目がスタート — 2P

予算特別委員会

復興を加速する大規模予算を審議 — 4P

町の考えを聞く — 7P

常任委員会から町政へ要望 — 17P

# 復興へ向けての2年目がスタート

## 織笠地区の復興事業施行条例可決



3月定例会の様子

3月定例会は、2月14日から3月8日まで23日間の会期で開かれました。一般質問（7件、16件に掲載）には10人が登壇し、NPO問題や復興事業など幅広く町政について質問。織笠地区の復興事業に係る土地区画整理事業施行条例などの新規条例10件、平成24年度補正予算8件、新年度予算9件など議案45件を可決しました。

総額747億円の新年度予算は、3月5日から4日間開催された予算特別委員会（4件、6件に掲載）での審議の結果、全て原案どおり可決しました。

その他には、2人目の副町長の選任や選挙区割りの変更に対する意見書の提出など、全て原案どおり可決し会期を閉じました。

### 第1回臨時会

#### 船越小の校舎建設契約可決

第1回臨時会は1月31日に開会されました。町から、船越小学校の校舎建設契約を締結する議案が提案

され、6億1897万5000円で、鹿島建設株式会社東北支店と契約しました。

その他に、町道浦の浜・田の浜線の道路用地、船越・田の浜地区、織笠地区の防災集団移転促進事業に係る造成用地を取得する議案などが提案され、原案どおり可決しました。

### 第2回臨時会

#### 補助金減額の補正予算可決

3月26日に第2回臨時会が開会され、町は契約案件3件、土地の取得、処分に関する案件5件などを提

案。全て原案どおり可決しました。また、教育委員に佐々木毅さん（57）に宮古市IIを任命することに同意しました。予定されていた審議が終了した後、急ぎよ、NPO問題に係る補助金減額の補正予算案が提案され、長時間の審議の結果、賛成10、反対4で可決しました。

# 議決議案ダイジェスト

## 条例関係

- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例
- 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例
- 町道の構造の技術的基準等を定める条例
- 準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例
- 移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例
- 公共下水道の構造等の基準を定める条例
- 水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例
- 都市公園条例の一部改正
- 町営住宅の設置及び管理等に関する条例の一部改正  
以上9件は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、運営等に関する基準を定めました。
- 暴力団排除条例  
暴力団排除に関しての基本理念などを定めました。
- 新型インフルエンザ等対策本部条例  
新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づき制定しました。
- 山田都市計画事業織笠地区震災復興土地区画整理事業施行条例  
織笠地区の復興を土地区画整理事業により進めるため制定しました。
- 行政組織の改正に伴う関係条例の整理  
新たに用地課を設置するため関係条例を改正しました。
- 乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部改正  
障害者自立支援法の改正に伴い、関係条項を改めました。
- 漁港管理条例の一部改正  
漁港施設の占用料を減額しました。
- 道路占用料徴収条例の一部改正  
道路法施行令一部改正に伴い関係条項を改めました。
- 家族旅行村条例及び山田町使用料の徴収に関する条例の一部改正  
家族旅行村にトレーラーハウスを整備するため、関連する条例を改めました。

## 意見書

- 岩手県下閉伊郡山田町を岩手2区から岩手3区に編入することに反対する意見書  
上記意見書を国、県に提出しました。

## 請願

- 「生活保護基準の引き下げはしないこと」の意見書提出を求める請願  
請願者 山田町生活と健康を守る会  
会長 佐藤 照彦  
紹介者 木村 洋子 議員  
審議の結果 原案不採択
- 消費税増税に反対する請願  
請願者 岩手県消費者団体連絡協議会  
会長 高橋 克公  
紹介者 木村 洋子 議員  
審議の結果 原案不採択

## 予算関係

- 【平成24年度】
- 一般会計補正予算（第7号）  
81億1,621万円を減額。総額805億6,275万円。
  - 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）  
1億1,951万円を追加。総額31億9,472万円。
  - 後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）  
254万円を追加。総額1億3,927万円。
  - 介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）  
586万円を追加。総額15億1,544万円。
  - 簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）  
400万円を減額。総額5,113万円。
  - 漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第3号）  
92万円を減額。総額1億4,780万円。
  - 公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）  
21万円を減額。総額2億1,033万円。
  - 水道事業会計補正予算（第2号）  
収益的収入を2,936万円増額。収入総額2億226万円。収益的支出を1,270万円増額。支出総額2億6,998万円。資本的収入を1億8,188万円減額。収入総額6000円。資本的支出を1億8,428万円減額。支出総額6,521万円。

## 一般議案

- 過疎地域自立促進計画の変更に関する議決  
過疎地域自立促進計画に中山間地域総合整備事業を新たに追加しました。
- 現況図作成業務の委託変更契約の締結に関する議決  
現況図作成業務の委託料を減額しました。  
変更前 1億1,475万8,700円  
変更後 6,391万7,700円
- 財産（土地）の取得に関する議決  
町道浦の浜・田の浜線の道路用地、船越・田の浜地区及び織笠地区の防災集団移転促進事業に係る造成用地を買入れしました。
- 負担付き贈与を受けることに関する議決  
独立行政法人中小企業基盤整備機構から仮設店舗等の負担付き贈与を受けるに当たり、施設譲渡契約を締結しました。
- 財産の貸付けに関する議決  
震災により被災した商工業者等に対し、仮設店舗等を無償貸し付けました。
- 船越小学校災害復旧敷地造成工事の請負変更契約の締結に関する議決  
船越小学校の敷地造成工事の請負金額を増額しました。  
変更前 1億4,994万円  
変更後 2億42万7,150円

## 人事案件

- 副町長の選任につき同意を求めることについて  
副町長に佐藤聡さん（48）＝盛岡市＝を選任することに同意しました。
- 人権擁護委員の候補者を推薦  
人権擁護委員の候補者として貫洞征功さん（68）＝飯岡＝を推薦しました。  
同委員は、人権相談や人権思想の普及・啓発などを行います。

# 復興を加速する 大規模予算を審議

予算特別委員会は、3月5日から8日まで町中央コミュニティセンターで開かれました。初日には、委員長に豊間根信委員を選出。4日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など9会計の平成25年度当初予算を審議しました。NPO問題や産業振興策など、会計ごとに委員から数多くの質問があり、活発な議論が交わされました。ここではその審議の概要をお伝えします。



予算特別委員会の様子

## NPOの問題

### 町の姿勢弱い

**問** 町はNPO問題への対応について、何かにつけて第三者調査委員会に任せているという答弁が多く、町として説明への姿勢が弱いのではないか。

**佐藤町長** 第三者に丸投げということではなく、第三者の立場で公平・公正な目で見てもらうことが重要だと思っている。

### 災害公営住宅は一戸建てを希望

**問** より多くの一戸建て災害公営住宅の建設を考えてもらいたい。

## 建設課

全体の計画に基づいて、どのくらいの戸数が必要か考える。災害公営住宅の3分の2は県の集合タイプである。残り3分の1は町で造るが、一戸建ての数は今後検討し、平成25年中に公表したい。

### 仮設ベッドの

### 設置の考えは

**問** 仮設の山田病院に入院機能があれば、本設の工期が遅くなってもある程度は待てると思うが、設置する考えは。

## 健康福祉課

仮設ベッドは制約がありできなかった。代わりに宮古病院で町の住民を受け入れたいとの話があった。県医療局と町の考

えが食い違わないよう協議する。

### 職員の定員増やしては

**問** 職員の定員適正化計画の目的は単なる人員と経費の削減なのか。国に縛られることなく必要に応じて採用すべきでは。

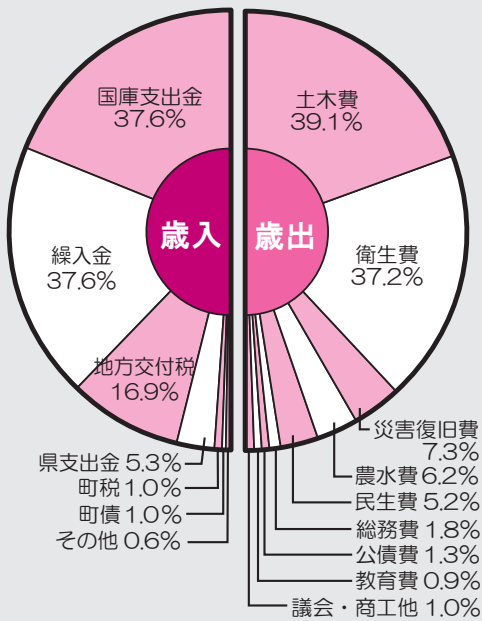
**総務課** 国に縛られるものではなく、事務量に応じた人員配置をする。人員削減が目的ではない。

### 補助金支給精査しては

**問** 町内の保育所建て替えへの補助金は、建設予定の敷地の未確定により返還が

# 平成25年度予算額

◆一般会計 747億8,453万円



## ◆特別会計など

国民健康保険	27億1,682万円
後期高齢者医療	1億3,258万円
介護保険	14億1,306万円
介護保険 (サービス事業勘定)	312万円
簡易水道事業	6,286万円
漁業集落排水処理事業	1億3,117万円
公共下水道事業	2億3,810万円
水道事業	収益的支出 2億4,473万円 資本的支出 1億4,132万円

## 参考

1世帯当たりの一般会計歳出予算額 (平成25年3月1日現在 6,741世帯)

土木費 (道路の整備や区画整理事業に使われる経費)	4,333,732円
衛生費 (がれき処理などに使われる経費)	4,132,081円
災害復旧費 (災害復旧のために使われる経費)	808,258円
農林水産業費 (農林水産業の振興に使われる経費)	689,908円
民生費 (福祉の向上のために使われる経費)	577,242円
総務費 (一般事務費などに使われる経費)	203,946円
公債費 (事業を行うため借りたお金の返済に充てる経費)	141,014円
その他 (教育費、消防費、議会費、商工費など)	207,800円
合計 (1世帯当たり)	11,093,981円

あった。社会福祉法人でも同じようなことがあったが、当初のチェックの甘さが原因だと思う。改善策を考えているか。

**企画財政課** 平成23年、24年度は非常時で精査が行き届かない面もあった。25年度当初予算では内容を精査するよう指示した。

## デイサービスが足りないのでは

**問** 介護保険でデイサービスをなかなか利用できない人がいるが、町で調整すべきでは。

**国保介護課** 足りないとは認識していない。老人保健施設が完成するまでデイサービスがサポートするよう考えている。

## 水道への繰入本当に必要か

**問** 水道事業に関して水道料金を値上げしてもさらに一般会計から7000万円の繰り入れが必要なのか。上下水道課 7000万円の繰り入れがなければ、予算が足りない恐れがある。水道事業の安定化を考慮している。

## 国民健康保険税減免されるのか

**問** 国民健康保険税は平成25年度は減免されるか。また、利用者負担金の免除はどうなるのか。

**税務課** 平成25年度は国保税の減免はない。

**国保介護課** 利用者負担金の免除は平成25年12月末まで延長する見込みである。

## 増額した理由は

**問** がれき処理費用を増額

した理由と、処理の見込みは。

**建設課** 処理費用の増額は、県への委託料が大きくなったためである。現状は処理量が多く思うように進んでいないが、平成25年度中に完了できない場合は26年度に繰り越す。

## 金属等のがれき売却した金額は

**問** 災害廃棄物は売却したか。

**建設課** 被災車両は売却契約をしたが、確定金額は示されていない。

## 放課後児童クラブ

### どこに設置するか

**問** 放課後児童クラブはどこに設置するのか。

**健康福祉課** 豊間根小と山田北小に設置する。

## 医師の招へい

### 町の熱意必要

**問** 医師募集広告補助金の内容は。また、医師招へいには町の熱意が必要だと思ふ。

**健康福祉課** 県立山田病院がホームページに医師募集の広告を掲載したときの補助金である。

**佐藤町長** 町民のことを理解し、地域医療に情熱を持つ医師を期待する。

## 水産業復興整備

### 進捗状況などは

**問** 水産業の復興整備を目的に多額の予算が計上されている。復旧状況と漁協や魚市場の現状は。

**水産商工課** 水産業施設復旧は36・4%の進捗率であり、漁船は90%整備された。町として山田魚市場と

サケふ化場職員の人件費を支援している。漁協も山田魚市場もサケの不漁により経営は厳しい状況にある。

## グループ補助金

### 繰越はできるか

**問** 復旧、復興事業の遅れにより、グループ補助金を活用できない人への対応は。

**水産商工課** 国が個別に状況を聞き取り、条件によっては繰り越すことができる。

## 個人の住宅再建に

### 行政が関与すべき

**問** 住宅再建について、制度をつくるなりして行政がバックアップすべきでは。

**復興推進課** 行政が住宅をあっせんするのは難しい。住宅建設モデルが必要であるとの認識は持っている。住宅建設業界と協議する。

## 各種審議会の

### 内容と構成は

**問** 都市計画審議会と土地区画整理審議会の内容と構成は。

成は。

**建設課** 都市計画審議会は、都市計画法に基づき、都市計画に関する事項の調査審議を行う。委員は、漁協、農協の代表、町議会議員、一般からの公募で選ぶ。

土地区画整理審議会は、区画整理事業が都市計画策定に合致するかどうかや、仮換地、保留地の場所について審議する。委員は地権者による選挙で選出する。

## 鯨と海の科学館

### 今後どうなるか

**問** 鯨と海の科学館は今後どうなるのか。教育施設としてつくられたので、収益がないからといって壊すべきではないと思うが。

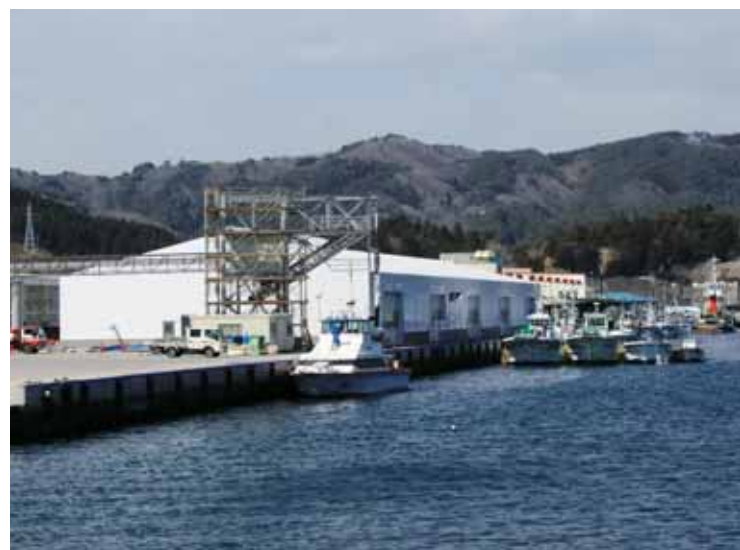
**生涯学習課** 社会教育施設として残すよう努力していきたい。

## 土地の買い取り

### もっと高価格で

**問** 防災集団移転促進事業などでの土地の買い取り価格が安いのでは。

**復興推進課** 被災地の買収は全国民の負担で行う事業



建設中の山田魚市場

なので、明確な基準により買い取る必要がある。

## 行政活動支援バス

### 利用できる団体は

**問** 行政活動支援バスの利用条件は。スポ少やクラブ活動でも利用できるか。

**健康福祉課** 福祉団体や小中学校の行事が対象であり、スポ少は利用できない。学校のクラブ活動などはスクールバスを利用してもらう。緊急雇用事業のため、運転手には離職者を雇う。

# 一般質問 町の考えを聞く

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。



第三者調査委員会による報告会の様子



豊間根信 議員

## NPO問題

### 責任所在の解明は

### 第三者調査委員会・弁護士へ

**質問** 大雪りばあねつとの運営資金問題が昨年11月28日に発覚以来、刑事告訴も辞さずと、機会あるごとにその言葉は耳にするが、状況の進展が見えない。

委託事業に至るまでの経緯、事業起家から、その予算上の根拠と数度に渡る補正予算の根拠など、団体の事業運営内容や人件費・経費・リース・レンタル等の財務会計における管理・是正について、現在までの状況と精査した内容、及びその責任の所在、また復興における影響等に対しどのように対応していくのか問う。

**佐藤町長** 第三者調査委員会に町の行政責任などの調査、検証を委ねるとともに弁護士に一連の事案について全て委託している。町は事業費を確定させるため資料の精査を進めている。

**質問** 町長は第三者調査委員会への期待が大きいようであるが、法的強制力を含め、どこまで権限があり解明できるのかと、これまでも発言してきた。

マスコミ報道においては調査終了と報道があったようだが、町の責任を含めて今後の精査・対応、解明に向けての取組みはどうなるのか。

**豊間根総務課長** これで終了ではない。町の瑕疵について、また、町の責任・原因の追求について、3月中旬に報告書をまとめるのと、町も事業費精査を現在行っており、県とも協議しこの問題の解明にあたっていく。

## 建設行政

### 生活関連道整備について

### できる限り対応していく

**質問** 「私道等整備補助事業」を活用し地域の私道整備の要望に応じていくとのことであるが、住宅着工の増により、ますます要望が多くなることが予想される。

見解と対応について問う。

**佐藤町長** 基本的には申請に対応し、足りない場合は補正により実施する。

## 建設行政

### 豊間根地区の排水路整備は

### 第9次発展計画にて実施検討

**質問** 豊間根地区においては生活排水路は未対応状態であり、自然環境の破壊を招き農業にも悪影響を及ぼす。排水路などの整備・実施計画、さらなる浄化槽設置補助、その他の整備方式等について問う。

**佐藤町長** 排水路整備については十分認識している。早期実施は厳しいが第9次総合発展計画での実施を検討していく。

浄化槽については、かさ上げ補助を実施し負担軽減に努めているが、足りない場合は補正により実施する。

#### その他の質問

- ◆緊急雇用創出事業委託について
- ◆復旧・復興に対する取り組みについて
- ◆雇用について
- ◆被災者の生活支援等について
- ◆消防・防災対策について
- ◆生涯教育について
- ◆行財政について



NPO法人が使用したケビンハウス



本木敏明議員

NPO問題

問題に気が付かなかったか

何度か上司に進言した

**質問** 平成24年の5月ごろ、総務課長の立場で法人の運営に疑問を持った後、なぜ早く町職員の派遣をしなかったのか。

**甲斐谷副町長** 平成24年6月の人事異動を協議したが至らず、結果的に9月に2人の派遣となった。

**質問** 誰に問題点を指摘し職員派遣を協議したのか。

**甲斐谷副町長** 前町長、前副町長と2度協議したが、1度目は反応がなく、2度目は人員が足りず無理とのことであった。

**質問** 平成24年度分の委託料を10月9日までに全額渡したのはふに落ちない。なぜ渡したのか。

**甲斐谷副町長** 契約書に前払いの条項があり、請求されたので支払った。

**質問** 前払い条項は理解している。しかし100%の支払いは非常識であり、支払い前の業務調査があつてしかるべきだったと思うが。

**倉本復興支援事業主幹** 事業途中での100%前払いは異常であり、今思えば中間での検査や精査をすべきだった。

**質問** なぜ検査や精査をせず、全てについて丸投げ状態で仕事をさせたのか。まったく考えられない事業委託だ。

**甲斐谷副町長** 町は平成24年に入り、法人側に予算の使用方についてさまざまに注意と是正を促してきたので大丈夫と思ひ支払った。

NPO問題

業務を精査したか

2人では無理だった

**質問** 町は法人の業務内容の精査目的を持って2人の職員を張り付けたが、帳簿書類などの点検をしたか。

**倉本復興支援事業主幹** 当初は復興事業支援のために出向いたが、その中で2人だけということもあり、膨大な事務量の精査には至らなかった。

**質問** 平成24年9月に、議会総務常任委員会は所管事務調査の一環として、法人の本部を調査した。町職員3人の立ち会ひであったが、その報告の有無と内容はどうだったか。

**甲斐谷副町長** 法人の予算の荒い使い方や、個人流用的なものがあつたことの報告があり上司に上げた。

**質問** NPO法人代表の履歴書などの未提出状態を今まで許してきたのはなぜか。また、委託先である法人の代表に、委託元である町の参与を委嘱することは非常識である。庁議で異論を唱える課長はいなかったのか。

**佐藤町長** 履歴書の未提出への疑問については、この事案が発覚するまで問題としていない。復興支援参与の委嘱の件は、前町長が独断で決定した人事案件であり、庁議には付されていない。いずれにしても第三者調査委員会で全容解明を急ぐ。

その他の質問

- ◆災害公営住宅への入居について
- ◆交通網について
- ◆健康、福祉について





改修が望まれる豊間根羽々の下道路



吉川淑子議員

建設行政

国道45号のルート変更は

町内2カ所を要望

**質問** 国道45号及び主要地方道重茂半島線の部分的なルート変更を要望する場所は、どこで何カ所か。

**答** 変更する場所と区間は、跡浜地区、北浜町から山田IC入口付近の2カ所となっている。

**佐藤町長** 国道45号は、織笠大橋から山田IC入口までの、延長約3・8km区間の協議を進め、大筋で合意を得ている。大きくルートを

重茂半島線は、大沢川向地区の国道45号から浜川目地区までの海沿いルートを、大きく山側に変更することを要望している。

建設行政

羽々の下道路改修は

1.3 km改修整備

**質問** 一般県道宮古山田線の、現在、支障となっている箇所現状と改修見込みを問う。

**答** ことから、これらの区間も含めた延長約1.3 kmを整備する計画である。

**佐藤町長** 県道の現状は、用地の同意を得られていない2カ所の区間で改修工事を凍結している。

震災後、県道が復興支援道路として位置付けられた

**阿部建設課長** 石峠、羽々の下の県道である。

**質問** その場所は長年支障を来し、地区住民も早い改修を望んでいる所だ、ぜひ改修を実現してほしい。

被災者支援

災害公営住宅の家賃は

2、3万円くらい

**阿部建設課長** 地権者にあたって同意をもらい整備することになる。かなりの相

続の方がいるので難しい状況であるが、事業を実施するよう進めていく。

**質問** 災害公営住宅は仮設住宅で生活している多くの

方が早期建設を望んでいる。平成25年度から27年度まで3年で整備し、28年度から入居できる計画であるが、建設場所、戸数を問う。

**佐藤町長** 現在、山田地区の個別相談会の集計を行っている段階である。地区ごとに集合タイプと戸建タイプの住宅を建設する計画である。豊間根地区72戸、大沢地区72戸、柳沢・北浜地

**質問** 早期建設を願うが、家賃はいくらくらいなのか。

**阿部建設課長** 豊間根は平成25年に着手して26年完成予定である。家賃は2万円から3万円くらいになると思う。

その他の質問

- ◆ 復旧・復興に対する取り組みについて
- ◆ 農林水産業について
- ◆ 観光について
- ◆ 環境について

- ◆ 国保、介護について
- ◆ 被災者の生活支援等について
- ◆ 行財政について
- ◆ 防災教育の充実について



田の浜地区の高台住宅団地造成予定地



山崎泰昌議員

建設行政

復興事業について

ニーズに合うよう努力・検討

**質問** 復興事業を進めるために、優先順位を付けてはどうか。

**山田技監** 第一に高台団地の整備、区画整理事業の盛土しての住宅再建を進めていく。都市公園事業等は後回しにしている。

**質問** 被災者はもちろん、自宅に住んでいる人のためにも生活基盤の整備を進めていかなければ、人口流出が止められないのでは。

**山田技監** 工事の発注により、交通状況の悪化が予想されるが、復興事業において対処していく。

**阿部建設課長** 大沢、田の浜地区の道路の安全対策については、県公安委員会と協議して対応し、側溝のふたの掛けは順次行う。山田高校下の国道45号は変更されるので、そのときに対応したい。

**質問** 防災、減災において、田の浜集会所付近に、飲料水、防火水槽の確保が必要では。

**佐藤上下水道課長** 復興事業を活用して、飲料水兼用の防火水槽を設置できそうなので消防と協議して配置計画を進める。また、井戸を掘ることも考えている。

**質問** 水産業において、国・県の支援を受け、事業を行っているが、町の実情と合っていないと感じている。

町内事情を熟知している職員が、もっと国・県に事業を提案、作成すべきでは。

**佐藤町長** 実情は県を通じて国に伝えているが、今後制度の改正、新たな要望は提案していく。

人事管理

職員倫理について

職員に徹底させる

**質問** NPO問題について、法人の責任が一番重いと考えているが、町職員においても不適切な事務処理を容認した事実はないのか。前町長の名前で仮設店舗の建築申請が出されたのは適正なのか。また、ことに入り3名の職員が減給処分を受けた理由は。

**豊間根総務課長** 町の持ち物でない建物を町長名義で建てるのは間違っていると思う。3名については、この件に関し、事実確認の甘さと、契約書の不正改ざんを理由に処分した。

**質問** 不適切な行為を今まで発見、是正できなかったのは、町の体質に問題があったのでは。

**豊間根総務課長** 申請書類については県の調査があったとき、総務課、復興支援事業室、企画財政課では資料を持っていなかったもので、11月26日まで把握できなかった。

**質問** この問題は刑事事件として対応できないのか。  
**豊間根総務課長** 弁護士と相談していく。

その他の質問

- ◆ NPO法人の不適正経理問題について
- ◆ 水産業について
- ◆ 交通網について
- ◆ 町民生活の安全と安心の確保について
- ◆ 被災者の生活支援等について
- ◆ 消防・防災対策について
- ◆ 防災教育の充実について
- ◆ スポーツの振興について
- ◆ 文化の振興について



陸中山田駅跡地



稲川勝憲議員

復興事業

JR山田線の復旧は

楽観はできない

**質問** JR山田線宮古・釜石間の工事着工、開通の見通しは。

**佐藤町長** 今までも機会あるごとに各界、各層に要望してきたが、JR東日本では、「公共交通を担う使命は十分に認識しており、前向きに検討するが明言できる段階にはない。いましばらくの時間を要する。」との回答であり、工事着工、開通の見通しは現段階では立っていないのが実情であり、引き続き復旧を求める。

**質問** 2月19日、JR山田線沿岸首長会議が盛岡で開催されたようだが、宮古市では宮古駅周辺に市役所の庁舎を将来建設するようだ。

町づくりの中心になるのは鉄道が通って駅があつて、その周辺に商店街が形成されることである。町づくりの決意を示せ。

**佐藤町長** 鉄道の再開で一

番必要なことは利用促進である。沿岸首長もこの点で一致している。常に利用できるような促進に向けての町づくりをJR東日本にアピールしていく。

**質問** 町づくりの一環として、駅舎、トイレの建設に復興交付金の支出はできないか。

**沼崎復興推進課長** 鉄路復旧が明言されればJRと協議していく。例えば図書館の分室などと駅舎との併設は、町づくり交付金の対象となる。

建設行政

私道整備補助基準緩和は

現状での運用を

**質問** 私道等の整備事業の補助基準を緩和してはどうか。

また、地域の要望はどのくらいあるか。

**佐藤町長** 昭和56年度から私道等の整備を図るため補助金を交付している。

補助率については、平成18年度から段階的に引き下げっており、20年度以降は50%補助であるが、採択要件は整備延長20m以上、幅員1mに緩和している。現在、2力所から相談を受けている。

環境行政

不法投棄防止の指導は

広報などで周知

**質問** ゴミの不法投棄防止は意識の啓発が重要であるが、どのように指導していくのか。

**佐藤町長** 震災後、不法投棄は減少していたが、最近になり通報が寄せられ懸念される場所である。

不法投棄は懲役や罰金が科せられる犯罪であるとの周知や再認識が重要である。機会を捉え、広報や環境教育などで啓発活動を推

進していく。

その他の質問

- ◆ 商工業について
- ◆ 観光について
- ◆ 雇用について
- ◆ 住環境について
- ◆ 健康、福祉について
- ◆ 町民生活の安全と安心の確保について
- ◆ いじめ対策について
- ◆ 体罰の禁止について



伐採中の県立山田病院整備予定地



木村洋子議員

緊急雇用

NPO問題について

調査検証中

**質問** 不明瞭な予算の使い切りの原因は。また、経緯は。

**佐藤町長** 緊急雇用創出事業は自由度が高く、雇用を確保していれば総事業費の49%は物件費として使えるものとの意識を持たせてしまったからではないかと思う。

経緯として、平成23年度の5回にわたる補正予算が挙げられる。

**質問** 町民への説明は。

**佐藤町長** 現在、第三者調査委員会に委ね、町の行政責任などについて調査検証中である。報告を受けた後に対応する。

**質問** 町内の企業で、NPO法人の従業員だったという理由で就職を断られる事例が発生した。再発防止すべきでは。

**佐藤町長** 解雇は元従業員に責任はない。元従業員であったことを理由に就職を拒否されることは残念であ

る。今後、宮古の職安や関係機関と連携し、雇用情報を提供するなど対策を講じる。

**質問** 面接で断られた方はどこで働けばよいのかと不安でいる。本人が悪い訳ではないのに、さらに辛い思いをしている。企業に対し採用を指導するともに、入社後も不利益を被らないように配慮が必要なのは。

**伊藤水産商工課長** 企業に対し、本当に仕事をしたい、給料もいらぬというくらいの気持ち伝えることも大事なのではないかと思う。

**質問** 町は究明のため情報が欲しいと言いつながら元従業員から話を聞いていない。本当に解決を急ぐのであれば、貴重な情報を持っている元従業員に話を聞くべきでは。

**豊間根総務課長** 情報を得ていなかった。第三者調査委員会に相談し、検討する。

医療復旧

山田病院の再建について

2回目の説明会は開催せず

**質問** 山田病院再建の住民説明会が1月にあった。2月に報告会を開く予定だったがどうなったか。

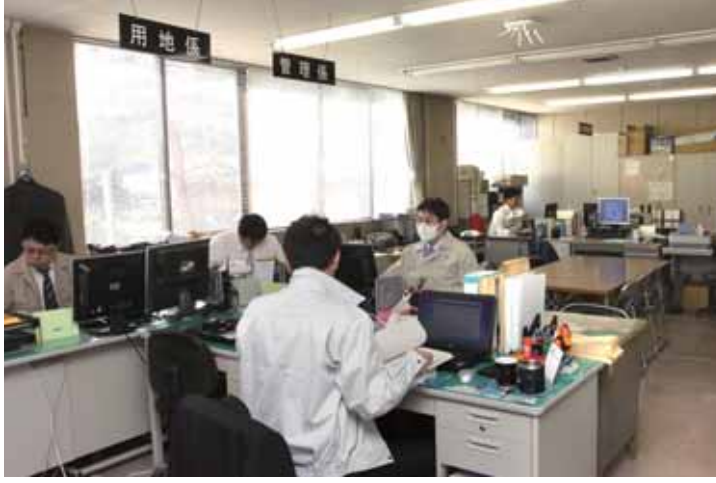
**佐藤町長** 医療局は、1月に行った1回目の住民説明会である程度の意見把握ができたので、2回目は開催しないとのことである。

**質問** 町内に入院機能がない状況が続いているが、改善策は。

**佐藤町長** 改善策はないのが実態である。山田病院の本設までの間は、近隣の県立、民間病院等の利用をお願いしたい。

その他の質問

- ◆派遣職員への支援と心のケアについて
- ◆子宮頸がんワクチンについて



新設された用地課



田村剛一議員

緊急雇用

NPO法人の問題解決は

告訴も辞さぬ覚悟

**質問** ①NPO法人が行っている復興やまだ応援事業をどのようなかたちで解決するつもりか。

②この問題が起きた原因は何か。町の責任をどう考えているのか。

**佐藤町長** ①解決のかたちについては、資金の流れの中で使途不明金の額を明らかにして事業を確立させること。弁護士に一連の事業については全て委託しているの、司法の手で決着させたい。  
②この問題が起きた原因、町の責任については、第三者調査委員会に、町の行政責任を含め、調査・検証を委ねているので、

行政責任については、今の段階では回答できない。

**質問** 町長はしきりに、司法の場とか第三者調査委員会といった言葉を口にするが、本気で司法に委ねる気があるのか。この問題をトカゲのしっぽ切りで終わらせてはならないと思うが、どうか。

**佐藤町長** 告訴は本気で考えている。トカゲのしっぽ切りで終わらせるようなこととはしない。  
**質問** 第三者調査委員会の報告書はいつ出るのか。委員会の調査は3月で終了か。  
**佐藤町長** 報告書は3月末には出る。調査の必要があれば、平成25年度も継続したい。

その他の質問

◆農林水産業について  
◆雇用について

◆住環境について  
◆船越小学校の早期復旧について

人事管理

庁内・組織・職員の意識改革を

新たな発想でチャレンジ

**質問** 復興を早め、かつ職場の活性化を図るため次のことを問う。  
①庁内組織及び職員配置の再編を。  
②市民の目線に合わせた職員の意識改革を。  
③議会軽視の執行体制の改善を。

**佐藤町長** ①新たに用地課を設け、復興のスピードを早めた。  
②新たな発想でチャレンジし、職員が職員倫理条例に基づき、職務に専念できるような徹底を図る。  
③議会軽視はしていない。

教育行政

児童生徒の健康と安全を守れ

学校・保護者・教育委員会で連携

**質問** 児童生徒を取り巻く環境は厳しくなっている。体罰、いじめ、不登校、登下校での安全などについての本町の現状はどうなっているか。

**菊池教育次長** 体罰は小学校で1件あり、学校では児童と保護者にわび、教育委員会では教師の指導もし

た。いじめについては、2月時点で小中学校を合わせ17件の報告があった。年間30日以上欠席した児童生徒は25名おり、いずれも学校、保護者、教育委員会が連携して指導に当たっている。通学上の安全については、点検を強化し、安全が保たれるよう努めている。



船越地区の高台住宅団地造成予定地



黒沢一成議員

高台造成

遺跡調査の影響は

道路工事優先し最小限に

質問 高台造成について、船越、田の浜、大浦地区の遺跡本調査の内容と造成工事の工程へ及ぼす影響は。

また、用地買収は予定通り進むか、住居が建設可能となるのはいつごろか。

佐藤町長 船越防災セン

ター北側の焼山遺跡および岩ヶ沢遺跡、田の浜地区の田の浜館遺跡、大浦地区の畠中遺跡の4地点を、平成25年度に本調査を行う。総面積約5万6000㎡、期間約1年半、作業員約70

名、費用約2億8000万円になる。

発掘調査中は造成工事できないが、発掘該当部分以外の道路工事等を優先するなど、できるだけ工事の進捗に影響のない形で進める。

また、用地買収は、高台団地部分はおおむね了解を得ており、発掘前には用地買収済みとなる。順調に調査・工事が進めば、平成26年度末には一部着工可能になる。

いじめ問題

予防の指導は

正しい価値観を養う

質問 「いじめ対策」における、いじめの予防についての指導とは。

菊池教育次長 継続的にアンケートを行い、いじめの実態調査に努めるとも

に、学校の先生方が常にアテンナを高くして、児童・生徒に寄り添った指導と道徳教育を実施し、いじめ防止に努めるよう指導していく。

質問 アンケート調査の結果中、いじめの内容で多いのは。

菊池教育次長 2月の調査では、からかいや悪口、仲間外れが多い。いじめ問題は専門の先生によると、子どもたちのコミュニケーションの低下が原因にあるようだ。

昔であれば家庭内での会話が、屋外での集団の遊びがあった。それがテレビゲームなどの氾濫でコミュニケーションを取らなくてもよくなった。そのコミュニケーション能力の低下により、いじめが起きる要因の一つとなっていると考えた。

質問 いじめられる側といじめる側だけの問題ではないと思う。周りの子はそのことを知っているが、半分以上の子は面白がり、あと半分くらいの子はわれ無せず、結果的に問題が大きくなるまで何もしなかった、となるのでは。

いじめは数人の問題ではなく、集団の問題であると教えることも大事と思うが。

い価値観を養っていくことが教育の現場では必要だと思う。

その他の質問

- ◆平成25年度の緊急雇用創出事業について
- ◆仮設住宅、店舗等の再利用について
- ◆水産業について
- ◆住環境について
- ◆健康、福祉について
- ◆消防・防災対策について
- ◆子どもたちの健やかな成長について
- ◆体罰の禁止について
- ◆スポーツの振興について



織笠地区の高台住宅団地造成予定地



坂本正議員

町の歳入

税金の減免について

国の方針により実施

**質問** 平成23年度に町民税の減免はしたのか。

減免を実施したところである。

**佐藤町長** 東日本大震災への税制上の対応として、平成23年3月14日、国からの通知を受け、23年第2回定例会において町税の減免に関する条例を議決していただき、町民税、固定資産税、軽自動車税、国保税について

減免はそれぞれ市町村の判断によるが、被災された事業主への支援は講じている。被災された方の痛みは承知しているので、今後の災害時にはより深く考慮して対応する。

建設行政

町道織笠外山線について

引き続き検討していく

**質問** 山田高校から礼堂の間は、特に道幅が狭く通学時に危ないので、拡幅する計画はないか。

による実施を検討しているが、事業採択要件に該当しないため、対応に苦慮している状況である。

**佐藤町長** この区間の整備については、多くの皆さまから要望をいただいております。整備の必要性は十分認識している。

このことから、国の補助

しかし、国の平成24年度大型補正予算により、舗装の修繕については事業要件に該当することから、老朽化の激しいこの区間と田子の木地区の修繕を国へ申請

している。なお、拡幅については、復興事業の実施状況、国・

県の補助金などの動向を見ながら、引き続き検討していく。

建設行政

災害公営住宅を急げ

全力で努力する

**質問** 災害公営住宅について、織笠地区は町内では一番早く建設を進め、土地の

などを経て用地を買い取り、着手するものである。

買い取りも早くすると言っていたが、平成27年度完成予定である。

土地の買い取りは、土地の境界確認、相続、抵当権、農地転用、税金などの問題を解決し、議会の議決により契約となるものである。

なぜ、もっと早く完成させられないのか。

このようにさまざま問題があることから、織笠地区の災害公営住宅は平成27年度完成予定としているが、移転開始ができるだけ早まるように努める。

また、土地の買い取りが遅れた説明を求める。

**佐藤町長** 復興事業は住民の合意形成、個別の意向調査、計画の設計、国の認可

その他の質問

◆大雪ればあねつについて



御蔵の湯



阿部幸一議員

緊急雇用

NPO法人大雪りばあねつについて

調査中である

質問

①誰の紹介で町に来たのか。  
②代表からなぜ身分証明などを提出させなかったか。  
③御蔵の湯は町が整備させたのか。県も関与しているのか。

④リース会社の設立については、県または町に相談があったか。  
⑤平成23年度分の不足額を24年度分で穴埋めしたようだが、町は承知していたか。

⑥使途不明金は6000万円以上とされているが、説明せよ。  
⑦領収書などを提出すれば済むことについての町当局の見解は。

佐藤町長

①代表の申し立ての内容と関係団体の話には相違点があり、第三者調査委員会で調査中である。

②幾度か提出を求めたが、震災後の混乱の中でそのままになってしまったと

いうことである。

③第三者調査委員会で調査中である。

④代表の申し立てでは、県や町の関係者への相談、了解は得ていないとのことである。

⑤町は知らなかったという認識であるが、この点についても、第三者調査委員会で調査中である。

⑥調査継続中である。  
⑦領収書や納品書などを提出してもらったことが問題解決の最優先事項であると考え。

質問 身分証明について人定調査をしたか。  
豊根総務課長 当時の総務課長の証言によると自衛隊の情報保全係に調査を依頼したとのことである。

質問 穴埋めの件について、NPO法人の平成24年3月分の給料の支払いは24年4月15日であったが、24年3月分の給料を支払うお金はなかったそうである。

24年度の委託料が4月13

日に法人に支払われて、給料は15日に支払われたそうだが、町は承知していたか。

町は何のために法人に行っているかと調査したのか納得いかない。

豊根総務課長 平成23年度分のお金が足りないという状態については、前執行部は知らなかったようである。

ことは

人定調査

間違いなくその人であるかどうかを確かめること。

その他の質問

- ◆最低制限価格制度について
- ◆新生やまだ商店街協同組合への支援について
- ◆UR都市機構について
- ◆支援物資について
- ◆山田町復興計画について
- ◆農林業について
- ◆観光について
- ◆交通網について
- ◆行財政について



# 調査を基に町へ要望

各常任委員会では、平成24年に行った所管事務調査の結果を基にそれぞれ町政への要望事項をまとめ、町長へ提出しました。主なものを抜粋して紹介します。

## 総務常任委員会

### ■総務課の所管事務

- ①中長期派遣職員の受け入れについて、派遣職員が窓口などの直接住民と接する部門に従事する場合には、対応について十分な説明を行うとともに、配属先についても考慮していただきたい。
- ②発掘調査による事業進捗への影響が出ないように、発掘調査員の増員要望をしていただきたい。

### ■企画財政課の所管事務

- ①一般会計予算の状況について、膨大な事業費であり、複数年にわたり事業執行できる制度創設を大臣等に要望していただきたい。

### ■復興推進課の所管事務

- ①交通対策について、関谷地区JR鉄橋下の通行に不便を来しているの、その対策を講じていただきたい。また、岩手県北バスが宮古市内から荷竹地区まで運行しているが、豊間根地区まで運行するよう要望していただきたい。

### ■税務課の所管事務

- ①滞納の解消を図るため、個別徴収に努めていただきたい。

### ■消防防災課の所管事務

- ①消防団屯所を新設する場合には、各分団の希望を取り入れていただきたい。

## 教育民生常任委員会

### ■町民課の所管事務

- ①災害復旧に伴う工事車両等の増加が予想されることから、児童生徒の安全を確保するため、通学路の交通安全点検を重点的に行い、危険箇所がある場合は早急に安全対策が講じられるよう努められたい。
- ②現在、災害廃棄物の仮置き場とされている船越公園について、地域住民が安心して生活ができるよう公園周辺の環境整備に努められたい。

### ■国保介護課の所管事務

- ①仮設住宅における高齢者等の引きこもりや孤独死

防止のため、地域支え合い体制づくり事業の充実、強化が望まれることから、現在、各集会所に1名常駐している生活支援専門員を複数人配置するよう努められたい。

### ■健康福祉課の所管事務

- ①県立山田病院の早期再建を図るため、積極的な支援に努められたい。

### ■教育委員会の所管事務

- ①震災後、校庭や公園に仮設住宅が建設され、子どもたちの遊び場となる場所が少なくなった。体力向上やストレス解消のため、子どもたちが安心して自由に利用することができる運動場などの整備に努められたい。

## 産業建設常任委員会

### ■農林課の所管事務

- ①出荷調整施設などの維持管理は、指定管理ではなく農家に組合をつくらせて任せたい。
- ②集農化で効率的な運営の指導をしてほしい。
- ③農地の区画整理事業で整備する用排水路の流量はしっかりと確保してほしい。

### ■水産商工課の所管事務

- ①生コン等資材の不足について、事業に遅れが生じないように資材の確保に努めてほしい。
- ②水産加工場の復旧について、排水設備を整備しないことがないように努めてほしい。

- ③銀行や商店などを一つの場所に集約化して、コンパクトな商店街を早くつくってほしい。

### ■建設課の所管事務

- ①復旧・復興現場の作業員が宿泊できる施設を確保してほしい。
- ②人口減が見込まれることから、防災集団移転促進事業などを速やかに進めてほしい。
- ③各事業で施設を建設する場合は、県産材を利用してほしい。

### ■上下水道課の所管事務

- ①小谷鳥地区の簡易水道について、世帯数が少なくなるからといって地区の自主管理にするようなことはしないでほしい。

インタビュー

傍聴席からひとつと



本宿 一夫さん  
(境田町・70歳)

「議会を傍聴されたきっかけは何ですか。」

「議会は以前から傍聴しており、特に大震災があつてから議会運営には注目しています。」

「議会を傍聴されたの感想はいかがですか。」

「町の行く末はどうなるのだろうか」と心配しています。」

「今後、議会または町政に望むことは何ですか。」

全国的にも知れ渡っているNPO法人の予算使い切り問題の解決です。町始まって以来の不祥事に対し、行政、議会関係者が、対外的にも恥ずかしくないような議会運営を

してほしいです。

復興事業の優先順位は何かと考えると、「我が田に水を引く」ような発言は議員としての資格があるのかと疑問を感じる場面がありました。結果、助っ人（大雪りばあねつと）に足元を見られたと言わざるを得ないと思います。

国も県も早期の復興を推進している中、金銭感覚がまひすることのないよう正しく精査し適正に執行してほしいです。

明日の山田が見えてくる

3月定例会では、23日間で延べ85人の方々が議会を傍聴しました。議会での一般質問や議案審議などを通じて町政課題や町の未来が見えてきます。皆さんで議会を傍聴しましょう。6月定例会は6月上旬に開会の予定です。

山崎幸男議員が自治功労者の表彰

本町議会の山崎幸男議員（写真右）が、全国町村議会議長会から、議員として在職15年以上の「自治功労者」として表彰されました。

2月26日に再開された定例会の冒頭に、表彰状の伝達が行われ、同僚議員から祝福の拍手が送られました。受賞おめでとうございませす。



議員出欠表

◎病欠入院 □公務欠席  
△遅刻早退 ○自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
1月31日	第1回臨時会	◎尾形英明
2月14日	第1回定例会	◎尾形英明
2月26日	"	◎尾形英明、△稲川勝憲
2月27日	"	◎尾形英明
2月28日	"	◎尾形英明
3月1日	"	◎尾形英明
3月4日	"	◎尾形英明
3月8日	"	◎尾形英明
3月26日	第2回臨時会	◎尾形英明

あとかき

▼震災から復興のために全力を傾けなければならぬ時期に、思わぬことに足を引っ張られている▼全容の解明に全力を尽くしており大まかな姿は見えてきた。責任の所在は関係者それぞれにある。委託した側、された側、両者の周囲の多数の人、おのおのに自覚が足りなかった。震災後の混乱期であつたことだけが要因ではない▼人間は口ポットではないからそれぞれが自分の考え・意志で動いている。（それが組織内の命令でも）常識的な善悪の判断は個々にあり責任もある。その意識が欠如している。責任を他人持ちにできるなら何をしても良い。そういう風潮が一般的にあるのでは▼噂を真に受けるのか否か、火のないうところに煙は立たないというが、オオカミ少年はどこにでもいる。耳には責任はないが口には責任がある。間に自分の考えが入るから。（黒沢）

議会広報編集特別委員会

- 議長 黒田 一暉
- 委員長 山崎 泰昌
- 副委員長 木村 洋子
- 委員 尾形 英明
- 委員 本坂 敏明